

著者紹介

渡辺 宏久 Watanabe Hirohisa

名古屋大学神経内科講師、医学博士。
1993年名古屋第二赤十字病院研修医、
1995年名古屋第二赤十字病院神経内
科、2003年名古屋大学神経内科医員、
2006年同助手、2007年同助教、2009年同講師。
研究歴：1999年名古屋大学大学院入学、2003年名古屋
大学大学院卒業。
専門分野：神経変性疾患（特にパーキンソン病、多
系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症）の臨床像の探索
と画像解析。
所属学会：日本神経学会、日本内科学会、Movement
Disorder Society。

伊藤 光泰 Itoh Mitsuyasu

藤田保健衛生大学医学部内分泌・代謝
内科教授、医学博士。
1974年名古屋大学医学部卒業、1978年
名古屋大学大学院医学研究科満了、
1978年～1981年米国ミネソタ州 Mayo Clinic 内分泌
研究部研究員、1981年浜松医科大学医学部第三内科
文部教官助手、1991年浜松医科大学医学部第三内科
講師、1994年藤田保健衛生大学医学部内科学講座内
分泌代謝科助教授、2001年藤田保健衛生大学医学部
内分泌・代謝科教授。
研究歴・専門分野：1974～1978年名古屋大学大学院
においてソマトスタチンのRIA に関する研究、1978
～1981年 Mayo Clinic において藤ラ氏島におけるイン
スリン、グルカゴン、ソマトスタチン分泌に関す
る研究、1981年～1994年浜松医科大学において1型
糖尿病の原因、自己免疫性甲状腺疾患、膠原病の病
因と治療に関する研究、1994年～現在まで自己免疫
性甲状腺疾患および自己免疫性内分泌疾患の病因、
糖尿病性合併症の成因と治療、インスリン分泌など
の研究。
所属学会：日本内分泌学会、日本内科学会、日本糖
尿病学会。

吉岡 健太郎 Yoshioka Kentaro

藤田保健衛生大学肝胆臓内科教授、医
学博士。
1979年3月名古屋大学医学部卒業、
1979年4月～1982年3月名古屋第一赤
十字病院研修医、内科医、1984年12月～1986年6月
米国ニュージャージー医科歯科大学内科研究員、
1987年11月～1998年6月名古屋大学医学部助手、
1998年7月～2004年5月名古屋大学医学部附属病院
講師、2004年6月～2005年10月藤田保健衛生大学消
化器内科助教授、2005年11月～現在藤田保健衛生大
学肝胆臓内科教授。
研究歴：1982年より「肝炎における免疫機構の関
与」、1984年より「マロリー硝子体に対するモノク
ロナル抗体の作成」、1987年より「慢性肝炎におけ
るTNF α の関与」、1989年より「HCV ジェノタイ
プとIFN治療効果」、1991年より「C型慢性肝炎に
対するIFN・リバビリン併用療法」、「HCVの変異
と病態の関係」。
専門分野：「肝疾患における肝硬度の測定」「HBV
の変異と病態の関係」「肝硬変における分岐鎖アミ
ノ酸投与の効果」「HCVの変異と病態の関係」。
所属学会：日本消化器病学会、日本肝臓学会、米国
肝臓病学会。

横山 信治 Yokoyama Shinji

名古屋市立大学大学院医学研究科基礎
医科学講座生物化学分野教授、医学博
士。
1972年東京大学医学部卒、1972～1975
年東大病院内科研修医、東大三内科医員、1975～1977
年朝日生命成人病研究所、1977～1980年シカゴ大学
生化学研究員、助教授、1980～1988年国立循環器病
センター研究所リウマチ研究室長、1988～1995年ア
ルバータ大学（カナダ）内科教授、1995年～名古屋
市立大学教授、2003～2005年医学部長、2004～2005
年副学長（兼務）。
研究歴・専門分野：脂質・リポタンパク質代謝と動
脈硬化症、脂質・リポタンパク質代謝と中枢神経系。
所属学会：動脈硬化経学会、日本生化学会、脂質生
化学会。